

Minami Kyushu University Syllabus

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2023年度	開講キャンパス	開講キャンパス	都城キャンパス	都城キャンパス	開設学科	開設学科	子ども教育学科		
科目名称	英語 A						授業形態	講義		
科目コード	750003	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○	
担当教員名	ブライアン・スモル								ICT活 用	
授業概要	<p>授業の目的は広く使える言葉を使って創造的にセンテンスを組めるようになることである。 日常の状況を英語で表現できるようになる。 1学期目よりも多くの状況をより詳しく、より正確に英語で表現できるようになることである。</p>									
関連する科目	「英会話1」本科目の履修前に必ず受講すること。 一步一步、段階的に英語を習うので、問題解決パターンと発見型の習い方はどんな科目・分野にも通用する。									
授業の方法と進め方	<p>1. ライブ シチュエーション： 実際の物と動作で言葉・センテンスの意味を見て、経験する。 2. ペアワーク： 小グループで実物を使って、動作しながら言葉を使う。 3. 線画： ホワイト・ボードで線画を見て、経験した言葉・センテンスを言う、書く。 4. ワークシート： A4紙のシチュエーションの線画に合わせて、文を書く。 5. 回収： ワークシートの学籍番号と氏名を見て名簿を記入する。 b. 先生がワークシートを訂正して返します。 次回の授業の始めに学生が教室に入ったら、ワークシートを参考(復習)にする。</p>									
授業計画【第1回】	<p>英会話1の期末試験の内容を元にして、ライブとペアワークで復習してから、また試験用紙の線画に合った文を書きます。 学生の関心と文章の性格さを見てから、進め方を調整します。 絵で見る英語Book 1中心に進むか、参考書(または教養プログラムに合った詩の批評などの)リーディングも取り入れるか、分かります。 maybe: English Through Pictures(絵で見る英語1 EP1) pages 30-34 Questions, Review of pages 1-29</p>									
授業計画【第2回】	<p>maybe: EP1 pages 35-36 1. will be, from, the numbers, days, months</p>									
授業計画【第3回】	<p>maybe: EP1 pages 36-37 1. with, from, go, will be,</p>									
授業計画【第4回】	<p>maybe: EP1 pages 38-39 1. together, but, not, again, were</p>									
授業計画【第5回】	<p>maybe: EP1 pages 40-41 1. one, the other, open, shut, see, does not see</p>									
授業計画【第6回】	<p>maybe: EP1 pages 42-43 1. have, has, say, is saying, said, not</p>									
授業計画【第7回】	<p>maybe: EP1 pages 42-43 1. between, have, had, shelf</p>									
授業計画【第8回】	<p>maybe: EP1 pages 44-45 1. under, over, between, shelves</p>									
授業計画【第9回】	<p>maybe: EP1 pages 44-45 1. before, parts of,</p>									
授業計画【第10回】	<p>maybe: EP1 pages 46-47 1. What do you see?</p>									

授業計画 【第11回】	maybe: EP1 pages 48-51 1. which, but, see, not
授業計画 【第12回】	maybe: EP1 pages 48-51 1. which(question), see
授業計画 【第13回】	maybe: EP1 pages 48-51 1. which(question) part, town, thing, country
授業計画 【第14回】	maybe: EP1 pages 50-51 1. has, on, chest
授業計画 【第15回】	maybe: EP1 pages 52-57 review questions Review: - in, at, under, on, over, between, see - saying, see, has, one, the other, of
授業の到達目標	1. 「英語コミュニケーション」 よりも多くの英単語と文章型を使えるようになる。[理解を応用し活動する能力] 2. より深く言語と学びを考えるようになる。[国際性の涵養、多様な言語を活用]
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外の学習 【予習】	教科書と参考書と仲良くなること。
授業時間外の学習 【復習】	ワークシートの復習、QR-コードを使って、正解のチェックなど。
課題に対する フィードバック	ワークシートの線画に書く文の訂正。独自の線画と文章の訂正。ワークシートの感想・コメント欄の返事
評価方法・基準	授業とワークシートの努力20点、定期テスト、80点
テキスト	「絵で見る英語 Book 1 改訂新版 English Through Pictures Book 1」 I・A・リチャーズ (共著)、クリスティン・ギブソン (共著)
参考書	- 「First Steps in Reading English 絵で読む英語」 - I・A・リチャーズ (著者)、クリスティン・ギブソン (著者) - 「絵で見る英語 Book 2 改訂新版 English Through Pictures Book 2」 - 「絵で見る英語 Book 3 改訂新版 English Through Pictures Book 3」 - I・A・リチャーズ (共著)、クリスティン・ギブソン (共著) - 出版社: IBCパブリッシング - 「ベーシック先生の基本動詞でこれだけ言える英語術」 著者: A Group of Basic English Teachers 出版社: 松柏社 - 「850語で考える英語 English Made Simple」 ベーシック イングリッシュ 著者: 後藤 宏、出版社: 松柏社 - Nations and Peace_ I.A. Richards (Written in 850-word Basic English System) - https://archive.org/details/in.ernet.dli.2015.74399

備考	<p>ワークシートに記入する学籍番号と氏名が出席管理に使用する。</p> <ul style="list-style-type: none">- 教科書を授業に持って来る。- 授業が始まる前に前回のワークシートを取って、参考にする。- 授業に入る前から携帯電話の電源を切る。- 携帯をバッグに入れておく。- 毎回、ワークシートの絵に合った英語文章を書く。- ワークシートに学籍番号と名前を記入- 学籍順にワークシートを集めて提出する。- ワークシート提出が出席の証拠- 最初は英語が簡単だがしっかり授業を開かないと、その簡単な英語すら言えなくなる。- 毎授業ごとに新しい単語が加わる。<ul style="list-style-type: none">- よって、一度でも欠席すると次回の講義は理解が困難になる。- しっかり授業を15回受けていれば理解できる。- 再試は行なわない- 暗記ではなく、考えて書く試験であるので短期間の独学で習得は無理である。- 再受講し、1から習い直し、外国が習える自信がついた方が本人の為である。 <p>GDM 教授法 : http://www.gdm-japan.net/</p>
----	--